



7月14日、15日函館市で開催された、第31回北海道小学生陸上競技大会兼日清食品カップ第29回全国小学生陸上競技交流大会北海道予選会のソフトボール投げで、3年連続の優勝を果たし、全国への出場を決めました。



小学生陸上競技大会 (ソフトボール投げ) で全道優勝

橋本 吏功くん

(虻田小学校6年・新谷陸上クラブ)

室蘭の地区大会では、他を大きく引き離す大会記録の59・94メートルで優勝し、自信も持って臨んだ全道大会でしたが、肩の痛みや全国大会出場へのプレッシャーなどで記録が伸びず、最後の1投を残して4位の成績。

「ちよつとあきらめそうになつたけど、なんにも考えずに投げた」開き直りの最後の6投目で大逆転。まさに薄氷を踏む思いでつかんだ優勝で、自己記録に約8メートル届かない記録に「もうちよつと投げたかった」と悔しさをにじませます。

念願の6年生の優勝者しか出場権がない全国交流大会の切符を手に入れ、8月23日から横浜市内で始まる全国交流大会に目標を合わせ、練習に励んでいます。「全国大会では、プレッシャーに負けないで頑張りたい。70メートルを超えて決勝ラウンドに進出したい」



「不思議な国のアリス」をテーマにしたコスチュームショー

3学年揃った最後の
洞高祭
虻高祭
パフォーマンスで若さアピール

7月19日、20日の両日「第60回洞高祭 つながり60years history」と「第52回虻高祭 Smile Heart」が開かれました。洞高祭では、3学年までそろって開かれる最後の学校祭で、



若さはじけるクラスパフォーマンス

生徒全員が一丸となり、食堂でのカレー販売や好評のマドレーヌなどの実習製品の販売が行われました。PTAの野菜市や屋台村も行われ、お祭りを盛り上げました。

舞台発表では、生徒、教員による香川獅子舞が披露され、「不思議な国のアリス」をテーマにしたコスチュームショーに、観客から大きな拍手が沸き起こりました。

一方虻高祭では、恒例のクラスパフォーマンスや模擬店、初企画となるモザイク壁画の制作クイズ大会と盛りだくさんの内容が行われました。各学年5クラスによるパフォーマンスでは、来校した町民や保護者から声援や拍手が送られていました。同時にPTA主催のわけあり市が今年も開催され、規格外の野菜などが格安で提供され、多くの人賑わいました。

広 告

広 告